

◆基本課題を点検する主な指標について

基本課題	項目	現状値	目標値
1	市における審議会に占める女性の割合	27.7% (平成29年度)	40%
1	市（市長部局）における管理職（課長級以上）のうち、女性職員の割合	12.9% (平成29年度)	増加
1	市における男性職員の「育児参加休暇」取得者率（※1）	25.0% (平成29年度)	50%
1	市における6歳未満の子どもがいる男性職員の家事・育児関連時間が3時間以上の割合（1週間の1日平均）	35.6% (平成30年度)	70%
1	年間を通じての保育所待機児童数	0人 (平成30年4月1日)	0人
1	社会での女性の活躍がより進んだと思う市民の割合	81.2% (平成27年度)	100%
2	夫婦間や恋人同士における「平手で打つ」「殴るふりをしておどす」を暴力として認識する市民の割合	65.6% (平成27年度)	100%
2	夫婦間や恋人同士における「友だちや身内とのメールや電話をチェックしたり、付き合いを制限したりする」行為について、暴力と認識する人の割合	<新規目標>	70%
2	子どもの前でされるDVは、子どもへの暴力（児童虐待）と認識する人の割合	<新規目標>	70%
2	DV等女性に対する暴力に関する相談窓口の周知度	49.8% (平成27年度)	100%
3	人権交流センター（はーとビュー）内にある男女共同参画センターの周知度	4.8% (平成27年度)	50%
3	男女共同参画に関する講座などの参加者数	<新規目標> (平成29年度336人)	500人
3	子育てや介護、DV、ハラスメントなど、困った時に家族以外で相談できる相手がいる市民の割合	<新規目標>	100%
3	社会全体として男女の地位は、平等になっていると思う市民の割合	<新規目標> (平成27年度20.9%)	50%
3	第4期まつばら男女かがやきプランに関する事業を協働実施する市民公益活動団体等の数	8団体 (※2)	増加

※1 育児参加休暇を取得した男性職員数／年度中に配偶者が出産した男性職員数

※2 プラン策定時の値は、第3期まつばら男女かがやきプラン（平成26～30年度）に関する事業を協働実施している市民公益活動団体の数